重大事件の発生時の学校・保育所の対応は

中山美幸議員

九月四日一時ごろ刃物を持った男が、商店に侵入する強盗未遂事件が発生したが、このような事件が発生した場合、学校・保育所等では、どのような方法で児童生徒の命を守ろうとしているのか。

実際を想定した訓練に努める

教育長

身近なところで刃物による強盗未遂事件が発生しショックを受けています。子供達をあずかっている時間帯に生命の危険にさらさせてはならないということは、終局の狙いでありますが、今回の場合は警察からの情報も無く、十二時三十分事件の概要と児童生徒の生命の確保と下校の方法等について指示を致しました。

その後、それぞれの学校ではマニュアルに従い対応いたしております。今後はさらに気を引き締め、実際を想定した研修・訓練に努めてまいります。

安全確保を再確認し気をつける

町長

この事に対する保育所長への指示は致しておりません。今後子供たちの安全をきする事は大事なことですので気をつけて参ります。園児の通園に関しては、保護者の方に送迎のお願いがしてありますので安全の確保はできております。保育中は園児と保育士がまじかに接し、出入り口も施錠がなされており、侵入者に対しては抑止効果がありますが、もしもの事を想定した安全対策を再確認し、安全で安心してあずけられる保育所の運営に努めます。

高齢者の健康維持の方策は

中山議員

町の二十八%を占める高齢者4570人の方々の健康の維持、増進を考えるとき各関係課、係り等の予算執行及び政策の連携はできているか。

また、どのような方策を講じて健康維持増進に努めていくのか。

生涯現役・生涯健康を目指す

町長

高齢者に対する政策の中で、関係各課同じような施策を実施する場合、内部的にはそれぞれの担当課で予算の編成が行われ矛盾を感じる部分もありますので、行政機構の見直しの中で一考する必要はあると思います。

生涯現役・生涯健康が私の目標とするところですので、健康体操・命の貯蓄体操・痴呆予防教室などを実施しており、病気にかかるまでの時間の延長をし、健康に対する意識の高い高齢者の育成に取り組んでまいります。医療費にお金を使うより健康づくりに重点を置いた政策を進め医療費の圧縮に努めます。

いきいき高齢者学級

福祉センター・福祉バスの利用促進策は

中山議員

高齢者の方々の活動拠点である老人福祉センター・福祉バスの利用率が低下しているが利用促進策は

関係各課・協議し方策を講ずる

町長

老人福祉センター建設時は、地域の老人クラブ加入率も高く、センターの利用率も高かったわけですが、現在は指摘の通り利用率が低下しております。利用率低下の要因は、老人クラブ加入率の低下・各医療機関のバスによる送迎サービス・保健士による地域への出前サービス等が、考えられますが、センターの利用率の向上も必要なことでありますので、各課協議し多くの方々に利用いただけるよう方策を講じていきます。

福祉バスの利用につきましては、利用者の利便性を考えた運行をしながら利用率の向上をはかります。